

「ぐりとぐら」



のねずみのぐりとぐらはとてもなかよし。
お料理を食べることが大好きなふたりが、おおきなたまごをみつけました。
さあ何をつくるのでしょうか？

幼1
ながわりえこ文 / おおむらゆりこ絵
福音館書店 780円

「三びきのやぎのがらがらどん」



やぎのがらがらどんが、くりかえしトロールに立ちむかってゆく。子どもたちは大好きです。

幼2
マーシャ・ブラウン 絵 / せたていじ訳
福音館書店 1050円

「てぶくろ」



雪の森に落ちているてぶくろ。くいしんぼねずみに続き「私もいれて」と森の動物たちが次々とてぶくろの中へ。
てぶくろは、はじけそう。テンポ良い語り口と動物たちの表情が楽しい絵本。

幼3
エウゲーニー・M・ラチョフ 絵 / うちだ りさこ訳
福音館書店 840円

「おだんごぱん」



ある日、おばあさんがおだんごぱんをつくりました。
食べられるのがいやなおだんごぱんは、にげだしました！！

幼4
せたていじ訳 / わきたかず絵
福音館書店 1155円

ブックリスト

本のもり

< 幼児編 >

子どもの読書活動推進のための懇談会

*表示価格は税込定価です
(平成18年3月現在)

「あおくんときいろちゃん」



あおくんときいろちゃんはとてもなかよし。
ある日、あんまりなかよしすぎてとうとうみどりになってしまいました。
こまったな...

幼5
レオ・レオーニ 文 / 藤田圭雄 訳
至光社 1260円

「もりのなか」



一人で散歩にでかけたぼくは、森で動物たちに出会います。動物たちはぼくの散歩についてきて...
いかにも動物がひそんでいそうな森を鉛筆だけで効果的に描いています。

幼6
マリ・ホル・イツ 文・絵 / まさきりこ 訳
福音館書店 945円

「14匹のあさごはん」



10匹の子どもねずみたちを中心に、三世代の大家族の日常生活を描くシリーズ作。
細かく描き込まれた14匹のねずみたちの世界に、大人も子どももひきこまれるでしょう。

幼7
いわむらかずお 作
童心社 1260円

「かいじゅうたちのいるところ」



ママにしかられて、マックスがたどりついたのは、黄色い目玉のかいじゅうたちのいるところ。どんどんマックスの想像がふくらんで、絵本の画面も見開き一杯に！

幼8
モーリス・センダック作 / じんぐうてるお訳
富山房 1470円

「ちいさいしょうぼうじどうしゃ」



町を火事から守るのは一台の小さいしょうぼうじどうしゃ。スモールさんとしょうぼうじどうしゃが町で大かつやく。

幼11
ロイス・レンスキー 文・絵 / わたなべしげお訳
福音館書店 840円

「しずかなおはなし」



ある秋の日の夜、父さんと母さんとぼやのはりねずみは、森の中へ散歩にでかけました。すると2匹のおおかみがあらわれて...。しずかなしずかな、はりねずみのおはなし。

幼9
サムイル・マルシャク 文 / ウラジミール・レーベフ 絵 / うちだりさこ訳
福音館書店 840円

「おおきなかぶ」



おじいさんが、かぶのたねをまきました。やがてそれは、おおきなかぶとなり...

幼12
A・トルストイ再話 / 内田莉莎子訳 / 佐藤忠良画
福音館書店 780円

「チムとゆうかなせんちょうさん」



ふなのりになりたい小さなチムの大冒険。まんまと汽船にもぐりこんだはよいが、せんちょうさんに見つかった。そして、ああたへん！あらしにまきこまれます。

幼10
Edward Ardizzone 作 / せたていじ訳
福音館書店 1365円

「100まんびきのねこ」



むかしおじいさんとおばあさんがすんでいました。あるひかわいいねこをかうことにしました。ねこがたくさんいる丘からいちばんかわいいねこをつれてかえろうとしましたが...

幼13
ワダ・ガグ 文・絵 / いいいももこ訳
福音館書店 945円

京都市図書館では、子どもの読書活動の振興について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、その振興方策等を協議してきました。

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリストを作成しました。

このリストには、子どもに読んでほしい本の中で、図書館や書店において入手できるものを、年代別に各30冊選びました。

このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。

平成18年4月

子どもの読書活動推進のための懇談会

- ・京都市PTA連絡協議会
- ・京都市子ども文庫連絡会
- ・京都市小学校図書館研究会
- ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
- ・京都市私立幼稚園協会
- ・京都市保育園連盟
- ・京都府書店商業組合
- ・京都市図書館

「からすのパンやさん」



からすのパンやさんに、4羽のあかちゃんがうまれました。やがて子どもたちがしごとをつたうようになり、いろんなパンができてあがります。みんなのすきなパン、あるとうれしいね。

幼14
かこさとし 絵・文
偕成社 1050円

「わたしのワンピース」



まっ白なワンピースでおでかけしましょう。
お花のもよう、水玉もよう、いろいろなもようにかわっていきます。
「わたしににあうかしら」

幼15
にしまきかやこ絵・文
こぐま社 1155円

「おやすみなさいコッコさん」



もう夜です。
おや、まだねむっていない子どもがいますよ。
「さあ、はやくおやすみ...」
お月さまはやさしい声でささやきます。

幼19
片山健 作・絵
福音館書店 780円

「はじめてのおつかい」



みいちゃんは、100えんだまを2つにぎりしめて、はじめてのおつかいに出かけます。
うまくおかいものできるかな？

幼16
筒井頼子作 / 林 明子絵
福音館書店 840円

「つきよ」



たぬきはかえりみち、つきをみて、おなかをきゅうつつかんでしまいました。
だって、つきがやまをすべりおりにてきたんですから。

幼20
長 新太作
教育画劇 1365円

「だいくとおにろく」



流れのはやい大きな川。
大工がその川に橋をかけることになりました。
川の中から鬼がでてきて、「めだまをくれるなら橋をかけてやる」といいますが...

幼17
松居 直再話 / 赤羽末吉画
福音館書店 780円

「ねむいねむいねずみ」



ねむくてたまらないねずみが、一日中歩いてたどりついた古い家。
それは奇妙な家でした...

幼21
ささきまき作・絵
PHP研究所 1121円

「とうさん まいご」



ページをめくると、絵のなかにいるとうさんをさがしてみましよう。
楽しさがいっぱいです。

幼18
五味太郎作・絵
偕成社 1050円

「かぜのこもりうた」



ぞうのぼうやがまいごになった。
不安がぼうやをつつみこむ。
そのとき、たしかにきいたんだ。
「だいじょうぶだよ」というかぜのうたを。

幼22
くどうなおこ詩 / あべ弘士絵
童話屋 1407円

「きんぎょが にげた」



きんぎょばちから飛びだした一匹のきんぎょ。ページをめくるとにげていく。ことばのくり返しがリズムのようで、絵の中のきんぎょをさがす楽しさがいっぱい

幼23
五味太郎作
福音館書店 780円

「だれだか わかるかい? - むしのかお」



みんな自分のかおは、まいにちみているとおもうけれど。虫のかおがよくみたことある? ちょっとこわそうだけれど、いがいとかわいしい虫がいるかも。

幼24
今森光彦文・写真
福音館書店 880円

「ピーターのいす」



ピーターがまだ小さかったときにすわっていた“いす”。妹のためにピンクにぬりかえられそうになります。いすを守るのに必死のピーター。でも、自分のおしりが入らないことに気づきます。

幼25
イスラ=ジャック=キーツ作 / きじまはじめ訳
偕成社 1260円

「はなを くんくん」



森の生きものたちが、冬の間、眠りつづけていた。そんなある日、何だか変だよ。みんな目をさましていっせいに“はなをくんくん”飛びだして見つけたものは? 期待と想像力がふくらんでゆく。

幼26
ルース・クラウス文 / マーク・シーモント絵 / きじまはじめ訳
福音館書店 1050円

「かしこいビル」



おばさんの家に招待されたメリー。だいじなものをトランクにつめてさあ出発。おいてきぼりをくらった人形のビル。さてどうする?

幼27
ウィリアム・ニコルソン 作 / まつおかきょうこ・よしだしんいち訳
ペンギン社 1050円

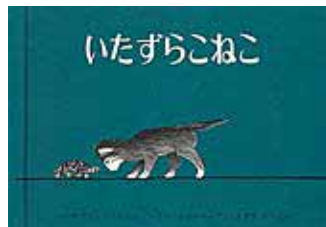
「きゅうりさんあぶないよ」



あたみに星を付けたきゅうりさんが歩いていると、出会う人がそれぞれに“あぶないよねずみがいるから”といって、何かしら道具をきゅうりさんにもたせる。そして、ねずみに出会ったとき、きゅうりさんは...?

幼28
スズキ コージ作
福音館書店 780円

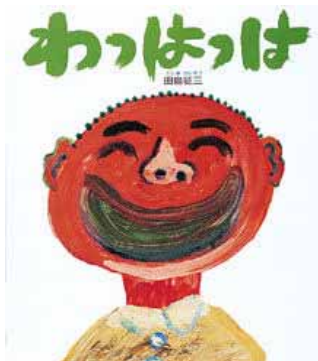
「いたずらこねこ」



好奇心旺盛なこねこが、ある日かめと鉢合わせ。こねこが手をだす。かめは瞬時にこうらの中へ身をかくす。こねこは...!? 軟らかい鉛筆画で、互いのやりとりがコミカルに描かれています。

幼29
バーナディン・クック文 / レイ・シャーリップ絵 / まさきりこ訳
福音館書店 1050円

「わっはっは」



かばさん、おおきな口でわっはっは。ひまわりの花も、わっはっは。おかあさんも、わっはっは。いすも、わっはっは...!? あなたもきつと、わっはっは。

幼30
田島征三作
偕成社 1050円